

イ 公2・緑化推進事業

(1) 都市緑化事業

都市緑化基金や当協会の収益事業で得た益金を積極的に活用し、県民の都市緑化意識を高揚させるため、県民参加型の緑化普及、啓発事業を展開した。

① 通年事業

都市緑化の推進を図るため、住民や地域団体が行う自発的な緑化活動の支援等を実施した。

事業名	事業内容等	参加者数等
花みどりいっぱい街づくり事業	地域の緑化活動を支援するため、11団体の緑化活動を支援した。支援団体の多くは、町の美観向上や地域ふれあいの場創出など、地域活性化に寄与することを活動目的に掲げており、その目的に沿った緑化活動を展開している。また、費用を抑えるために宿根草や球根類を多用した花壇づくりを行う団体や、修景デザインから日常管理まで話し合い、長い期間良好な花壇が保てるように取り組むなど、各団体とも工夫を凝らした活動を行っている。	7市町から 11団体が参加
緑化ボランティアリーダー養成事業	主に県北地域での緑化ボランティアリーダーとなる人材の養成を目指し、那須野が原公園を会場に第6回目となる養成講座の2年目応用編を実施した。 都市における緑の役割や緑化の必要性、地域の協働、行政との関わり方を学ぶため、実習では那須千本松牧場にご協力いただき、花壇修景・管理を行った。また、とちぎグリーンフェスタ2017では受講生が企画・立案した体験イベントを運営した。 なお、県内各エリアでの講座開催が終了し所期の目的を達成したことから当事業は今回を持って終了するものとし、今後は、修了生を対象とした支援事業に取り組む予定である。	受講生 初年度修了生 20名 2年目修了生 19名
私たちの花壇事業	公園への愛着心を醸成するため、各公園の花壇を開放し、幼稚園、自治会、公園ボランティア等、多くの県民に花苗の植え付けや除草など花壇管理を体験してもらった。緑化ボランティアリーダー養成講座修了生もボランティアとして参加しており、延べ11団体が85回の緑化活動を行った。	延べ1,438名
出張緑の相談所事業	緑化活動を行っている地域へ緑の相談員が出張し、緑化講習、実技指導、及び緑化相談を実施した。 県民花飾り小学生の部においては、花の植え付けだけではなく、花の特徴や植え付け後の管理についても説明し、花育としての活動ができた。	延べ4回実施 232名

都市緑化広報事業	<p>[ホームページの更新] 情報発信機能向上を図るため、平成28年8月にスマートフォンなど各種モバイル対応のホームページに全面改良した。これにより都市緑化事業及び各公園の花や緑化イベント情報を利用者の「お手元」に提供することができ、ページビュー数や閲覧時間が急増している。</p> <p>本格運用となった平成29年度の累計アクセス数は約145万件に達し、前年度比10%増となっている。</p> <p>[都市緑化広報誌「花さんぽ」の発行] 年4回（4月、7月、10月、1月）発行。</p> <p>とちぎグリーンフェスタ等旬な情報、花や緑に関する身近な情報を発信し、緑化に関する興味や関心を高めて頂けるよう内容充実に努めた。</p>	<p>平成29年度 累計アクセス数 約145万件 （全公園HP）</p> <p>28,000部発行</p>
----------	---	--

② 月間事業

都市緑化の普及と啓発を図るとともに、公園の利用促進と近隣市町の活性化を図るため、とちぎわんぱく公園をメイン会場、井頭公園、那須野が原公園、みかも山公園、日光だいや川公園をサテライト会場とし、10月7日（土）から9日（月祝）の3日間、「とちぎグリーンフェスタ2017」を開催した。

全会場統一イベントとして、計500本の苗木（ブルーベリー）を配布した。

メイン会場では県民花飾りを実施し、小学生の部は壬生町内小学校4校に協力いただき232点、ガーデニングコンテストの部はコンテナガーデン部門など4部門合計で67点設置し、会場に彩りを添えた。ファミリー部門においては来園者による人気投票とし、好評を得た。

また、緑化に関する体験教室や地元郷土芸能の披露、小学校の児童による演奏会など、地域に密着したイベントを行った。グリーンフェスタを盛り上げるため、大道芸やゲーム大会、地元アイドルグループのライブなど子どもから大人まで楽しめるアトラクションも実施し、多くの方に楽しんでいただいた。

グリーンフェスタの広報では、ポスター300枚、チラシ30,000枚を作成し、県営都市公園、県内道の駅、コンビニエンスストア、ホームセンターなどに協力をお願いし、県内全域的に掲示した。

さらに、開催前には地元新聞に広告を掲載し告知するとともに、各マスコミへ記事の投げ込みを行うなどPRに努めた。

期間中は5会場で約6万3千人の人出で賑わった。

寄せ植え講座等参加費 51,750円